

## 入会すると・・・

1. 学会誌『化学史研究』が  
年4冊（季刊）届く
2. 『化学史研究』への投稿、  
化学史学会年会での発表、  
ができる
3. 化学史関係の出版物や行事へ  
の参加機会が増える  
情報も格段に増え、活動が活発に
4. 学会賞、論文賞制度、  
学会出版物の特価制度も

化学史学会

## 学会ホームページ

当学会についての詳しい情報が満載です。  
「化学史学会」で検索、または  
<https://kagakushi.org/> へ。

## 入会申し込み

### ◎正会員または学生会員

事務局より入会申込書と振替用紙をお送りしますので、  
入会申込書に必要事項を記入して返送するとともに、郵便振替用紙に必要事項をご記入のうえ、入会金と年会費の合計金額を当会までお振込みください。

### ◎維持会員または賛助会員 個人(団体)

事務局より入会申込書をお送りしますので、入会申込書に必要事項を記入してご返送ください。その後、入会金と年会費の請求書を事務局よりお送りしますので、ご送金ください。

振替口座:00180-0-175468 加入者名:化学史学会  
<入会金>1000円  
<年会費>正会員:7000円、学生会員:3000円  
維持会員:1口(10万円)以上  
賛助会員:1口(1万円)以上

## お問い合わせ先

### <学会事務局>

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5  
東京電機大学工学部 田中浩朗研究室内  
化学史学会事務局  
事務局長 田中浩朗 宛

化学史学会

(入会案内)

*The Japanese Society for the*

*History of Chemistry*

# 化学史学会 とは

- ・古今東西の「化学の歴史」に関心を持つ  
歴史家・科学者・技術者・教員・学生・市民などの交流の場です。
- ・年4回の会誌の発行、研究発表会や研修会などの開催、日本化学会など関連他団体への協力、ホームページでの情報提供など、様々な活動を行っています。
- ・会員の関心・経歴・職業・所属などもバラエティに富み、異分野交流による新たな刺激や発見も期待できます。
- ・化学の歴史に関心のある方はどなたでも入会申込みができます。

## 沿革

- 1973年 化学史研究会発足。  
(英国に次ぐ世界で二番目の化学史の学会です)
- 1974年 『化学史研究』創刊。
- 1984年 化学史学会と改称。

## 会員

- 正会員・学生会員 約 250 名
- 維持会員・賛助会員 約 10 社・団体

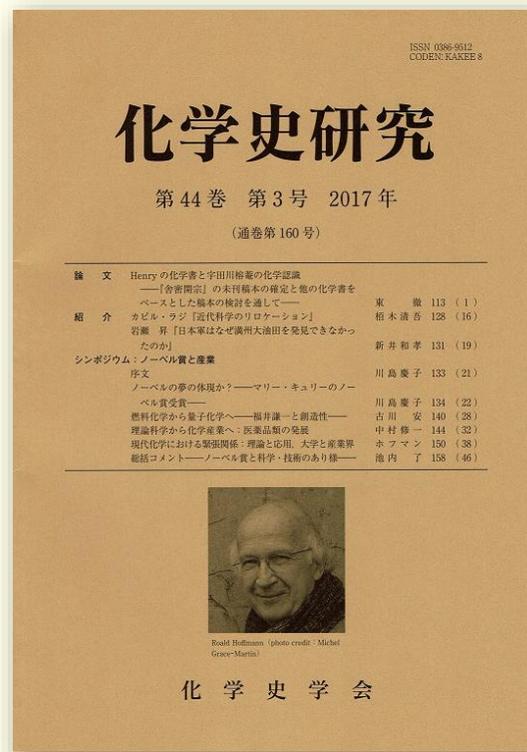
## 事業

- ・会誌『化学史研究』の季刊(各号、60-80頁)
- ・研究発表会(年会、年1回)開催
- ・化学史研修講演会(年1回)
- ・化学遺産市民公開講座  
(年1回、公益社団法人日本化学会共催)
- ・不定期開催の研究講演会、見学会など

## 出版物

- 『化学史事典』化学同人(2017)、『入門化学史』朝倉書店(2007)、『20世紀の日本の化学技術』TIC(2004)、化学古典叢書(第1期、5巻;第2期、4巻)(1998-2002)他多数 \*会員特価あり

# 学会誌『化学史研究』



『化学史研究』は当学会の発足の時から続いている、会員の研究成果発表と情報交換の場です。2017年現在、第44巻(通巻第160号超)で、当学会の生命とも云える刊行物です。

☆『化学史研究』の創刊号からの総目次が学会ウェブサイトより検索できます。

「化学史学会」で検索、または  
<https://kagakushi.org/>  
をお試しください。

化学は、科学のなかで基礎理論から産業応用までと幅広く、また、宇宙生成、生命誕生から、古代哲学、錬金術、科学革命、産業革命、元素周期律、有機化学、合成、有機金属、触媒、情報革命まで、化学の時空は大きく広がっています。そのような中で、普遍的な人の性(さが)、人の個性の組合せ、大きな天変地異や事件との関係など、これら全て『化学史研究』の対象です。

## その中味は

論文、研究ノート：

会員の研究成果の発表・発信。

特集や各種シリーズもあります。

特集：

化学史・科学史研究などの新潮流を集中掲載。

学会シンポジウム、

シリーズ：

「技術史シリーズ」、「日本の化学者」、他

その他、

紹介：国内外の新刊書の書評・紹介

広場：会員からの情報提供・意見交換

資料：化学史的に貴重なデータをまとめ、

情報源として提供

学会の活動予告・報告、関連イベント案内、など  
会員に必要と思われる情報を幅広く取り上げて  
います。

# 化学史学会